

グリーンスローモビリティシンポジウムIn大阪  
2019/06/10



## 小さな拠点を核とした地域共助型モビリティ実証事業 (Re+hopeワンマイル・サポート松江)

エコ×ユニバーサルな松江のまちづくりを考える会  
社会福祉法人みずうみ 理事長 岩本雅之

# 小さな拠点を核とした地域共助型モビリティ実証事業 (ワンマイル・サポート松江)

## 対象エリア



### 運行期間

平成30年9月2日～12月16日 (約3ヶ月半)

当該エリアの  
平均高齢化率  
**27%**



### 小さな拠点

食料品店, 銀行ATM, 喫茶店, ポストなど



### 対象エリア

- 対象地域は郊外の高台にある**複数の住宅団地**。
- 各団地間を經由し、市街地と団地を結ぶ環状型の路線バスが運行されているが、**便数は少ない**。

# 小さな拠点を核とした地域共助型モビリティ実証事業 (ワンマイル・サポート松江)

## 実証の目的



### 実証の目的

小さな拠点を核とする電動小型低速車を活用した高台団地の共助型のモビリティサービスの実現を目指す。



# 小さな拠点を核とした地域共助型モビリティ実証事業（ワンマイル・サポート松江）

## 実証概要



<b>運行期間</b>	平成30年9月2日～12月16日（約3ヶ月半）	
<b>運行形態</b>	全域での <b>デマンド運行</b> を最終目的としながら、Re-hope（新たなモビリティ）の認知度を徐々に上げていくため3stepで実施。 【Step1】簡易なルートでの <b>体験型プレ運行</b> 【Step2】団地ごとの <b>循環型運行</b> で運行エリアを徐々に拡大 【Step3】地域共助型 <b>デマンド型運行</b>	
<b>使用車両</b>	カートタイプ 4人乗り ×1台, 7人乗り ×1台	
<b>役割分担</b>	<b>事業主体</b>	エコ×ユニバーサルな松江のまちづくりを考える会
	<b>運行主体</b>	社会福祉法人みずうみ
	<b>連携主体</b>	松江市(関係各所調整) 松江高専高等学校(アンケート企画・分析) しまねソフト研究開発センター(IoT導入アドバイス) など

# 小さな拠点を核とした地域共助型モビリティ実証事業 (ワンマイル・サポート松江)

## 実証の結果



### 乗降人数

期間中の総乗降者数 **2,558**人

【内訳】	簡易ルート運行	8.7 人/日
	循環型運行	13.4 人/日
	デマンド型運行	8.8 人/日
	イベント利用	307.0 人/日

### アンケート結果 より

#### ★『小さな拠点』の利用頻度の増加割合

※利用頻度が「増えた」と答えた人の割合

スーパー	<b>24%</b> の人が増加と回答	ATM	<b>17%</b> の人が増加と回答
郵便局	<b>12%</b> の人が増加と回答	バス	<b>10%</b> の人が増加と回答

